

〔シペルメトリン水和剤〕

農林水産省登録 第16583号

性 状：淡褐色水和性粉末 45 μ m以下

毒 性：劇 物

アグロスリン® 水和剤

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：100g \times 100袋、500g \times 20袋

有効成分：シペルメトリン……………6.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	
キャベツ	アザミウマ類	1000倍	100～ 300 ℓ	7日前	5回	
	アオムシ・コナガ・アブラムシ類 ヨトウムシ・タマナギンウバ	1000～ 2000倍				
はくさい	アザミウマ類	1000倍		前日		1回
	ハスモンヨトウ	1000～ 2000倍				
だいこん	アオムシ・コナガ・アブラムシ類 ヨトウムシ	1000～ 2000倍		7日前		5回
はつかだいこん				3日前		
レタス	アブラムシ類	2000倍		7日前	5回	
非結球レタス					2回	
ピーマン	アブラムシ類・タバコガ	1000倍		前日	5回	
きゅうり	オンシツコナジラミ・アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ					
なす	オンシツコナジラミ・アブラムシ類	1000～2000倍		前日	2回	
トマト		2000倍				
ミニトマト				7日前	5回	
すいか	アブラムシ類	1000～ 2000倍				
メロン	アザミウマ類			7日前		
たまねぎ	アザミウマ類	1000～ 2000倍	前日	4回		
てんさい	ヨトウムシ					
ばれいしょ	アブラムシ類		7日前			
りんご	ギンモンハモグリガ・アブラムシ類	2000倍	200～ 700 ℓ	前日	2回	
	キンモンホソガ・シンクイムシ類	1000～2000倍				
なし	ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ モモチョッキリゾウムシ	1000倍		前日	3回	
	ナシチビガ・アブラゼミ					
もも	シンクイムシ類・アブラムシ類 カメムシ類・ハマキムシ類	1000～ 2000倍		前日	5回	
	アブラムシ類 モモハモグリガ・シンクイムシ類	2000倍				
すもも	アカエグリバ・アケビコノハ オオエグリバ・ヒメエグリバ カメムシ類	1000倍		前日	2回	
	アブラムシ類 モモハモグリガ	1000～ 2000倍				
ネクタリン	シンクイムシ類・アブラムシ類	1000～ 2000倍		前日	2回	
	カメムシ類	2000倍				

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	
かき	カメムシ類・カキノヘタムシガ アザミウマ類	1000~2000倍	200~ 700ℓ	前日	3回	
	フタテンヒメヨコバイ			21日前	5回	
チャノキイロアザミウマ	2000倍					
コガネムシ類	1000倍					
くり	クリタマバチ	1500~3000倍		7日前	3回	
	クリシギゾウムシ	1000~2000倍		前日		
くるみ	アメリカシロヒトリ	1000倍		3日前	2回	
おうとう	ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ	1000倍		200~ 400ℓ	摘採 14日前	1回
	チャノコカクモンハマキ チャノホソガ・チャハマキ				1000~2000倍	200~ 700ℓ
かんきつ	チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ ヨモギエダシヤク	2000倍		100~ 300ℓ		
	アブラムシ類・カメムシ類 チャノキイロアザミウマ		1000~2000倍		200~ 700ℓ	3回
かんしょ	ナカジロシタバ・ハスモンヨトウ	1000倍		200~ 700ℓ		
	イモコガ・エビガラスズメ コナジラミ類・ネギアザミウマ ヨトウムシ	2000倍				
	アブラムシ類	1000倍				
かんしょ (茎葉)	ナカジロシタバ・ハスモンヨトウ	2000倍	200~ 700ℓ	3回	5回	
	イモコガ・エビガラスズメ コナジラミ類・ネギアザミウマ ヨトウムシ・ハムシ類	1000倍				
うめ	アブラムシ類	1000倍	100~ 300ℓ	前日	5回	
なばな	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	1000倍	100~ 300ℓ	前日 #1		

#1: みょうが(花穂)の収穫前日まで。但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで。
使用方法: 散布 [みょうが(花穂)を除く]

みょうが(花穂): 散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。

効果・薬害等の注意

- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合する。
- くりのクリタマバチには羽化脱出期、クリシギゾウムシには裂果前にそれぞれ使用する。
- 本剤の茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 医薬外用劇物。取扱いには十分注意する。
 - 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
 - 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 眼に入らないように注意する。眼に入った場合には、直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。（刺激性）
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。また散布液を吸い込んだり、浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。
- 本剤による中毒の治療法としては動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 本剤はのど、鼻、皮ふなどを刺激する場合、またかゆみを生じる場合があるので注意する。
- 摘果等の作業の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- 合成ピレスロイド系殺虫剤です。
- チョウ目、アブラムシ類に効果があります。またとくにアザミウマ類、カメムシ類には有効です。